参考2

総務省　2020年オリンピック・パラリンピック東京大会等関連施策

1. 新たなイノベーションを創出するICT成長戦略の推進

（1）大会と連携したICT環境の整備等

○「2020年に向けた社会全体のICT化推進に関する懇談会」立ち上げ、検討開始

○SAQ² JAPAN Projectの推進

・無料公衆無線LANの利用開始手続き等の簡素化・一元化に係る実証実験【27当初0．3億円】

・観光・防災Wi-Fiステーション整備事業【26補正8．0億円、27当初2．5億円】

・国内発行SIMの差替えによるスマートフォン利用の円滑化及び国際ローミング料金の低廉化に向けた取組

○世界最高水準のICT基盤の整備のための競争政策を含む制度見直し等の実施

○最適なネットワーク環境の整備

・巨大データ流通を支える次世代光ネットワーク技術の研究開発【27当初6．0億円】

○超高精細映像の視聴環境の整備

・電波資源拡大のための研究開発等【27当初78．9億円の内数】

・デジタルサイネージ相互運用性検証事業【27当初0．4億円】

・4K・8K等最先端技術を活用した放送・通信分野の事業支援【27当初4．0億円】

○多言語音声翻訳システムにより「言葉の壁」をなくす「グローバルコミュニケーション計画」の推進

・グローバルコミュニケーション計画の推進【27当初13．8億円】

○G空間情報を活用したオリンピック・パラリンピックの実現

・G空間プラットフォーム構築事業【27当初6．2億円】

○「オープンデータ」オリンピック・パラリンピックの実現

・オープンデータ・ビッグデータ利活用推進事業【27当初3．0億円】

（2）公共施設等のバリアフリー化

○ICT化を活用した行動支援の普及・活用

・「2020年に向けた社会全体のICT化推進に関する懇談会」立ち上げ、検討開始（再掲）

（3）クールジャパンの大会と連携した推進

○放送コンテンツの海外展開

・国際放送の実施【27当初34．6億円】

・テレビ国際放送の充実強化【26補正3．9億円、27当初0．9億円】

・地域経済活性化に資する放送コンテンツ等海外展開支援事業【26補正16．5億円】

※【　】内は平成26年度補正予算（案）又は平成27年度予算（案）の額

2. 活力ある地域づくりを通じた新しい成長の実現

(1)大会と連携した地域交流・地域活性化

○「地域の元気創造プラン」の推進等により、大会開催による経済波及効果を全国に波及

○全国の自治体と参加国・地域との相互交流を図る「ホストシティ・タウン構想」の推進

○ラグビーワールドカップ2019を通じた地域活性化

・ラグビーワールドカップ2019を通じた地域活性化に関する調査【27当初0．2億円】

3. みんなの安心をまもる

(1)テロ対策

○NBC災害対応等のための体制整備

・大型除染システム搭載車の整備【27当初0．4億円】

・国民保護共同訓練の充実強化【27当初0．9億円】

(2)サイバーセキュリティ対策

○情報セキュリティ対策の推進

・M2Mセキュリティ実証事業【27当初1．5億円】

・サイバー攻撃複合防御モデル・実践演習【27当初4．0億円】

・ICT環境の変化に応じた情報セキュリティ対応方策の推進事業【27当初4．1億円】

・国際連携によるサイバー攻撃予知・即応技術の研究開発【26補正2．0億円】

(3)防災・ライフライン・安心安全

○外国人来訪者等への救急・防災対応

・119番通報の多様化【27当初0．8億円】

・全国版防災アプリの整備に向けた調査・検討【27当初0．1億円】

・外国人来訪者等に配慮したターミナル施設等における防火安全対策の推進【27当初0．1億円】

・熱中症対策等の検討【27当初0．6億円の内数】

○Lアラート(災害情報共有システム)の高度化

・G空間防災システムとLアラートの連携推進事業【26補正4．0億円】

4. その他

(1)大会協賛宝くじ・記念切手の発行等

○全ての都道府県及び指定都市における協賛宝くじの発売を予定

○記念切手について、日本郵便・組織委員会と調整中。寄付金付切手の発行については同切手の発行を可能とするための東京大会に係る特別措置法案を今国会に提出予定

※【　】内は平成26年度補正予算(案)又は平成27年度予算(案)の額